

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	里山こうぼうをつくる会
活動タイトル	絆の森整備事業
活動地域	愛知県岡崎市石原町字帝口



令和5年5月14日人間環境大学絆の森体験

### 【活動の目的・目標】

私たちの活動の目的は、ボランティア活動を通じて里山を育て多様な生態系を取り戻し、潤いのある森林空間の保全を図ることです。

目標は、青年や親子家族が自然に触れ合える空間を醸成し、何度も遊びに訪れる関係人口の創設を目標としています。



令和5年7月23日親子ビオトープ観察会

### 【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

里山の整備は、労力と時間が必要です。活動資金がなくボランティアによる整備作業ですが、若者や親子の喜ぶ姿が私たちの活力となります。活動を実施する上での助成金の交付は、私たちの大事な原資となります。6月2日の豪雨により、ビオトープの護岸が崩落しそうです。関係団体への相談が大きな課題です。



令和5年9月16日絆の森親子自転車体験会

### 【活動の内容・成果】（上半期）

開催回数：作業7回、イベント3回

参加人数：作業44名、イベント109名

達成率：50%

今年度の活動は、草刈と共にMTBのコースビルドが大きな作業内容となっています。イベント開催の前には、会場の整備を実施しています。

4月22日第1回整備作業(草刈りとMTB)

5月2日第2回整備作業(ササユリとMTB)

5月14日第3回整備作業(絆の森青年体験会)

6月3日第4回整備作業豪雨災害の調査と修復

7月15日第5回整備作業(次週会場草刈り)

7月23日親子自然体験ビオトープ家観察会

8月27日第6回整備作業(MTBコースビルド)

9月16日親子自然体験自転車体験会

9月23日第7回整備作業(会場草刈り清掃)

上半期の事業は順調に推移し、達成率は50%といえる。6月の豪雨は、絆の森に大きな傷跡を残した。当面はビオトープの崩壊を食い止める準備をしたい。近隣の里山には、三河漆や楮ミツマタの自生地がある。後半の活動では、新たな森林植生や地域資源となる漆工芸や和紙体験に挑戦したいと考えている。

### 【団体概要】

里山こうぼうをつくる会は、弘法山の麓にある水田の跡地を活用してビオトープを形成しています。稲作の用水路を利用した新たなスタイルのビオトープは、県からも注目されています。水生生物の原種が見つかり、貴重な生態系の保全に努めています。会員の整備活動は、子供たちの笑顔や歓声を聞くことで安らぎます。青年や親子自然体験の場所づくりをする団体です。

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



○令和5年5月2日ササユリの保全活動  
6月中旬に開花するササユリの苗床周辺の草刈りと、獣害対策に向けた海苔網の設置をしています。シカや猿の被害に悩まされますが、きれいな花が咲き、地域住民が喜んでくれるよう整備を続けています。開花後の8月には、網を片付け鹿網にかからないように配慮もしています。動物との共生も大切です。



○令和5年5月2日MTBコースビルド  
マウンテンバイク(MTB)の新たなコースを絆の森の中に整備しています。サイクリスト達の意見を取り入れ、林間コースをつくるものです。地元スタッフは、草を刈り木の株を除去したり、石積みをしてなだらかのコースをつくります。写真は、その後サイクリストがコースを作り上げていく様子です。



○令和5年6月8日 里山橋の修復  
老朽化していた里山橋の修復をしました。絆の森を整備していくうえで、園内を周回できるように整備が期待されていました。これまでは、先輩方の努力で木製の橋が架かっていましたが、今回鉄筋の橋にかけ替えられました。融資の夢と期待が込められた里山橋の完成に充実感を感じています。



○令和5年8月27日 MTBコース完成間近  
これまで、MTBの初級コースを完成させ子供たちの練習場ができました。今回は、中級者向けのコースビルドをしています。左の写真は、コース内に軌道をつくり土を盛る作業を行っています。地元スタッフの重機を活用して笹屋株の除去を準備しています。新たなコースが、関係人口の増加につながります。